

国語問題

(12月9日実施)

□ 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

九ヶ月ごろになると、子どもの認知能力は急速な発達を^a上げるようになる。□ Aたとえば、遊び場面でオモチャに布をかけて見えなくしてしまうと、子どもはすぐに、そこには、もう何もないかのように、オモチャへの^bカンシンを失ってしまう。□ B九カ月齢に達すると、布でおおったところで、自分で布を取り去り、下に置かれていたオモチャで遊びを持続するようになる。スイスの^cチヨメイな心理学者であったジャン・ピアジェによると、これは子どもにとって、外界の事物が客観的なものとして永続性をもって認められだしたことを示す証拠であるという。子どもは、自分の眼に映っているものが何であるかを理解するようになり、眼に映っているものを手がかりにして、眼に見えていないものの存在すらわかるようになってきたときに初めて、外界の事物を意味づけし、それにかかわる情報を他者に伝えようとするのだと考えられる。□ C信号の発し手である自分自身と、信号を送ろうとする対象の相手、加えて二者とは別に外界に存在する□ Dの事物との関わりが心の中に捕捉されるようになったのである。

子どもとおかあさんが交渉の場を持っているところへ、父親が姿を現わしたところを想像してみよう。子どもが「タアタア」という喃語^{なんご}を発する。あるいは別の子どもならば、「パパ」というかもしれない。喃語の種類は、個人々人によってまちまちである。□ E我が家の二男は、はじめ父親(つまり私)のことを指して、「トートー」と発音し、一方まったく別人のことを指して「パパ」と言って周囲のおとなをびつくりさせた。しかも「パパ」と呼ばれる人物は、^dフクスウ存在した。さすがに気になって観察してみると、自宅の前にある駐車場で自動車から降りる人すべてをひつくるめて「パパ」と呼びかけることがわかった。いずれにせよ音の指し示す対象との対応は恣意性を帯びており、要するに子どもが日常的に関係を持っている、ごく限られた人数のおとなにさえ理解され得るならば、こと足りるのだ。けれども「タアタア」あるいは「パパ」という、ほんのわずかの発声であったとしても、われわれはそこから随分とたくさんの情報を読みとることができる。ひるがえってこの事實は、たとえ限られたタイプの音の配列しかいまだつくり上げられなくとも、いくつかの違った機能を果たすコミュニケーションをおこないうる可能性が、子どもにすら存在することを^eシサしている。

一般に子どもによるメッセージは指示対象を表象するのが主たる働きであると受けとめられているかもしれない。「タアタア」と声を出すことで、母親に父親が来たことを知らせるという行動は、コミュニケーションの叙述機能を例示するテンケイであるといえるだろう。しかし、指示対象についての観察および検証可能な情報を伝えるというのは、メッセージ機能の一部分にすぎない。先ほどいたずらをして父親に□ Fしかられた子どもが、少し□ Gがさめたところに再び現れた父親の姿を視野にとらえて「タアタア」と言ったとしよう。おそらく中立

的な叙述のニュアンスの「タアタア」とはおのずと響きが異なるだろう。ソウイからメッセージの受け手は、対象についての発信者の感情・評価・態度をうかがい知ることができないに違いない。コミュニケーションの機能の側面が、浮きぼりにされたことになる。

I また子どもは、父親自身に一定の反応を引き起こすことを主たる目的として「タアタア」と声を出すかもしれない。たとえば抱っこをせがんで、「タアタア」と叫ぶ。メッセージの①たる子どもの発声は、この場合、②への欲求に依拠している。おとなのことばに解釈するならば、一種の命令文の形で表象されるものとして受けとれるので、コミュニケーションの欲求・命令機能と命名するのがもつともふさわしいだろう。

つまり信号の発信者たる自己と、信号の受け手と、さらに第三の人物や物体の介在に関する理解が発達したときに、子どもの行うコミュニケーションは多義性を持つことになる。伝達する情報の焦点が第三の存在に深くかわれば、メッセージは叙述的となり、自分自身にかかわれば情動的機能を果たす。また、信号の受け手にかかわれば要求・命令的に作用する。そして先に見たように、生後九ヶ月ごろの子どもはこれら三つの機能に応じて、発声する音のメロディタイプを意図的に変えるスベを獲得してくるのである。オモチャを使って遊びながら、オモチャ自体に関心の焦点があてられているとき（呼びかけ、叙述）には、発声される音の語尾は上昇も下降も示さない。ところが、おかあさんを動かそうとすると（注意カンキ、要求）、語尾は上昇する。逆に自分の意志を示す場合には（抵抗、ⁱジョウト）、語尾は下降を示していた。しかも、この傾向は六名の被調査者を通じて一貫している。個性性を超えた現象として、見られるのだ。

【正高信男『0歳児がことばを獲得するとき』】

問一 傍線 a ～ i のカタカナにふさわしい漢字をそれぞれ選び、番号で答えよ。（解答番号は【1】～【9】）

a【1】	トげる	1 遂	2 徒	3 到	4 問	5 成
b【2】	カンシン	1 感心	2 感震	3 関心	4 歓心	5 甘心
c【3】	チョメイ	1 著明	2 超名	3 緒名	4 著名	5 貯名
d【4】	フクスウ	1 副数	2 福数	3 復数	4 幅数	5 複数
e【5】	シサ	1 志佐	2 試査	3 示唆	4 支唆	5 為唆
f【6】	ソウイ	1 相違	2 総意	3 創意	4 創違	5 総違
g【7】	スベ	1 技	2 術	3 全	4 手	5 任
h【8】	カンキ	1 寒気	2 換気	3 喚起	4 歓喜	5 喚呼
i【9】	ジョウト	1 譲渡	2 謙渡	3 讓図	4 贈答	5 贈渡

問二 空欄 A・B・C・E・I に入る適切な語を次より選び、番号で答えよ。 (解答番号は【10】～【14】)

1	たとえば	2	つまり	3	それまでは	4	ところが
5	あるいは	6	ようやく	7	一貫して	8	さらに

問三 空欄 D・F・G・H に入る適切な語を次より選び、番号で答えよ。 (解答番号は【15】～【18】)

1	他者	2	ほとぼり	3	第三	4	情動的
5	こつびどく	6	一人称	7	機会	8	形式的

問四 空欄①・②に入る適切な語を次より選び、番号で答えよ。 (解答番号は【19】～【20】)

1	受信者	2	送受信者	3	発信者	4	疎外者	5	双方向
---	-----	---	------	---	-----	---	-----	---	-----

問五 傍線①と同じ状況として適しているものを次より選び、番号で答えよ。 (解答番号は B【21】)

1	九ヶ月の子どもが、パンを見て「マンマ」と発した
2	九ヶ月の子どもが、スプーンを見て「マンマ」と発した
3	九ヶ月の子どもが、自分の母親を見て「ママ」と発した
4	九ヶ月の子どもが、自分の父親を見て「パパ」と発した

問六 この文章の内容に適したものを次より選び、番号で答えよ。 (解答番号は【22】)

1	生後九ヶ月頃の子どもは、母親にだっこを求める時の語尾は下降する。
2	生後九ヶ月頃の子どもは、自分の意思を示すことはない。
3	生後九ヶ月頃の子どもは、常に指示対象に対する確かなことばを発する。
4	生後九ヶ月頃の子どもでも、コミュニケーションの叙述的機能と情動的機能を持っている。
5	生後九ヶ月頃の子どもでも、コミュニケーションをはかることは困難である。

三 次の言葉の意味として適切なものを、四角で囲まれた中からそれぞれ一つずつ選び番号で答えよ。 (解答番号は、【23】～【27】)

A	【23】	アカデミズム	B	【24】	アナクロニズム	C	【25】	エッセンス	D	【26】	オプティズム
E	【27】	アナーキー									

1	共同体	2	学問の世界	3	楽観主義	4	時代錯誤
5	悲観主義	6	無秩序	7	本質	8	意思疎通

三 次の漢字の読みについて正しいものを選び、番号で答えよ。 (解答番号は【28】～【33】)

- | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|---|------|---|------|---|------|---|-----|---|------|
| A | 逝去【28】 | 1 | せいきよ | 2 | いきよ | 3 | しきよ | 4 | いき | 5 | ほうぎよ |
| B | 生粹【29】 | 1 | いき | 2 | きつすい | 3 | わく | 4 | きすい | 5 | なまじ |
| C | 工面【30】 | 1 | こうも | 2 | くれ | 3 | くめん | 4 | こうず | 5 | くうも |
| D | 行脚【31】 | 1 | あんどん | 2 | あんぎゃ | 3 | ぎょこう | 4 | さんば | 5 | あんごう |
| E | 捺印【32】 | 1 | おういん | 2 | なついん | 3 | ないん | 4 | てい | 5 | いんかん |
| F | 所以【33】 | 1 | ゆいしよ | 2 | しよよう | 3 | ほか | 4 | ゆえん | 5 | ゆかり |

四 次の作家の作品名と、関係のある語をそれぞれ選び、番号で答えよ。

(解答番号は、【34】〜【43】)

- A 坪内逍遙 作品名【34】関係のある語【35】
B 永井荷風 作品名【36】関係のある語【37】
C 石原慎太郎 作品名【38】関係のある語【39】
D 矢野龍溪 作品名【40】関係のある語【41】
E 志賀直哉 作品名【42】関係のある語【43】

【作品名】

- 1 蒲団 2 小説神髓 3 地獄の花 4 ころも
5 太陽の季節 6 経国美談 7 和解 8 蟹工船

【関係のある語】

- 1 私小説 2 写実主義 3 政治小説 4 自然主義
5 個性派 6 戯作文学 7 白樺派 8 プロレタリア文学

五 次の意味にあてはまる言葉を選び、番号で答えよ。

(解答番号は、【44】〜【49】)

- A 【44】 警戒して息をつかずにじっとしている
B 【45】 不意のことに慌てる
C 【46】 深く感動する
D 【47】 危険を感じひやりとする
E 【48】 怒りががまんできない
F 【49】 顔をほころばせて大いに喜ぶ

- 1 息を詰める 2 肝を冷やす 3 感に堪えない 4 腹に据えかねる
5 面くらう 6 相好を崩す 7 歯がゆい 8 途方に暮れる

六 次の意味に当てはまる四字熟語を選び、番号で答えよ。

(解答番号は、【50】〜【55】)

- A 【50】 交わってためになる三種類の友人
B 【51】 あさはかな考えや計画
C 【52】 将来を期して人につき従い、やがて盛んに活躍すること
D 【53】 他のものを自分の思うままに支配すること
E 【54】 人に先だって模範を示すこと

F 【55】 言葉にばかりこだわり、真の道理が理解できないこと

5	1	安穩無事
雌伏雄飛		
6	2	益者三友
生殺与奪		
7	3	雲翻雨覆
率先垂範		
8	4	輕慮淺謀
滯言滯句		